

## 平成23年度当初予算 施策別概要

### 211 地域の实情に応じた 多様な雇用支援

(主担当部：生活・文化部)

21101	若年者の雇用支援	(生活・文化部)
21102	障がい者、高齢者等の雇用支援	(生活・文化部)
21103	雇用施策の地域展開	(生活・文化部)

#### < 施策の目的 >

- (対象) 働く意欲のある人が
- (意図) 就労している

#### < 現状と課題 >

- ・ 県内の雇用状況は、地域や求職者の年齢・障がいの有無等により大きく差があるため、これまで、若年者や障がい者、高齢者等に対する雇用支援を進めてきたところですが、2008年(平成20年)秋に発生した金融危機の影響により、雇用情勢は急激に悪化し、現在も依然として厳しい状況が続いていることから、引き続き地域の实情に応じた多様な雇用支援策が求められています。
- ・ 若年者では、就職先が未決定のまま学校を卒業する者の増加、就職後3年以内の離職率や無業者等の数が依然として高い水準にあることなどの課題があり、そのような若年者に対し、職業人として必要な知識・技能の向上や勤労観・職業観の醸成などの就労支援を進める必要があります。
- ・ 障がい者雇用では、全国でも低位にある民間企業における障がい者の実雇用率を改善し、障がい者が就業を通じて自立した生活を送ることができるよう取組を充実させる必要があるとともに、高齢化の急速な進展等をふまえ、働く意欲のある高齢者の安定した就業機会を確保する必要があります。
- ・ これら雇用施策の推進にあたっては、労働局や市町、経済団体等が果たす役割も大きく、地域の多様な主体と協働し、地域の实情に応じた取組が重要となります。

#### < 平成23年度取組方向 >

臨時的、一時的なつなぎ雇用の機会を提供する「緊急雇用創出臨時特例基金」並びに地域の創意工夫により継続的な雇用の機会を創出する「ふるさと雇用再生特別基金」の活用について一層の促進をはかり、市町と一体となって雇用支援策を展開していきます。

若年者の雇用対策では、勤労観や職業観の醸成、キャリア形成能力の向上をはかる取組を中心に、職業相談、雇用関係情報の提供、職業紹介等をワンストップで提供する「おしごと広場みえ」を拠点にきめ細かく対応するとともに、ハローワーク等の関係機関との連携により就職面接会を県内各地で機動的に開催し、求人求職のマッチング機会を提供していきます。

若年無業者等に対しては、教育関係機関やNPO、企業等の多様な主体と連携して支援の輪をひろげ、本人やその家族等が支援機関へ相談しやすい環境づくりのために、地域拠点等の整備に努めるとともに、自立訓練講座や就労体験の充実をはかり、段階的支援体制の機能向上にも努めます。

教育現場との連携を深め、卒業後の就労・自立支援機関として「おしごと広場みえ」や「若者自立支援センター」の周知に努めるとともに、新卒未就職者に対する就職支援に努めます。

障がい者の雇用対策では、訪問による啓発等事業主に対する働きかけ、就職に有効な職業訓練機会の提供、ジョブサポーターを活用した職場定着への支援、在宅就業への支援、国・市町をはじめ教育・福祉などの幅広い関係機関との連携を強化し、一層の雇用促進に努めます。

中高年齢者の雇用対策では、県内企業とのマッチングやハローワーク等関係機関との連携による就職面接会等の取組を進めます。

< 主な事業 >

緊急雇用創出基金事業補助金【基本事業名：21103 雇用施策の地域展開】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(22) 3,000,000千円 (23) 2,436,000千円

事業概要：離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対し市町等が行う雇用機会創出事業に助成を行います。(各市町および一部事務組合において実施)

ふるさと雇用再生特別基金事業補助金【基本事業名：21103 雇用施策の地域展開】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(22) 900,000千円 (23) 897,000千円

事業概要：継続した雇用機会を創出するため、市町が地域の実情に応じた創意工夫に基づき新たに求職者等を雇い入れて行う事業等に対し助成を行います。(各市町において実施)

若者就職総合サポート事業【基本事業名：21101 若年者の雇用支援】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(22) 25,473千円 (23) 24,721千円

事業概要：三重労働局との連携により運営している「おしごと広場みえ」において、職業相談、就職セミナー、職業紹介など、総合的なサービスをワンストップで提供します。(ふるさと就職セミナー2回、合同企業説明会3回を予定)

ニートサポート事業【基本事業名：21101 若年者の雇用支援】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(22) 10,685千円 (23) 27,555千円

事業概要：若者自立支援のためのネットワークづくり、家族向けセミナーなど支援事業の利用を促すための広報活動、若年無業者の社会参加に向けて自信や適応力を高める自立訓練講座や事業所での就労体験を実施するとともに、北勢地域の訓練講座強化と支援体制の調査研究にも取り組みます。(家族向けセミナー3回、自立訓練講座40回、就労体験30人を予定)

未就職卒業者等支援事業【基本事業名：21101 若年者の雇用支援】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(22) 143,883千円 (23) 180,818千円

事業概要：厳しい雇用状況の中、就職先未決定のまま卒業した若者等が、職業人として必要となる基礎的な技術・知識を高め、就職できるよう、研修や技能訓練の機会を設けるとともに、就職面接会の開催等を行います。(3地域で100人の研修を予定)

障がい者委託訓練事業【基本事業名：21102 障がい者、高年齢者等の雇用支援】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(22) 30,293千円 (23) 30,875千円

事業概要：障がい者の就職への不安を解消し、円滑な就職を促進するため、障がい者の態様に合わせた多様な職業訓練機会を提供します。(50人を予定)

高年齢者就労マッチング事業【基本事業名：21102 障がい者、高年齢者等の雇用支援】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(22) 3,055千円 (23) 2,311千円

事業概要：高年齢者の就労促進に資するため、適職診断の実施、就職面接会の開催などを行います。(就職面接会6回を予定)